



今日のトピック 中国のGDP成長率は初のマイナス

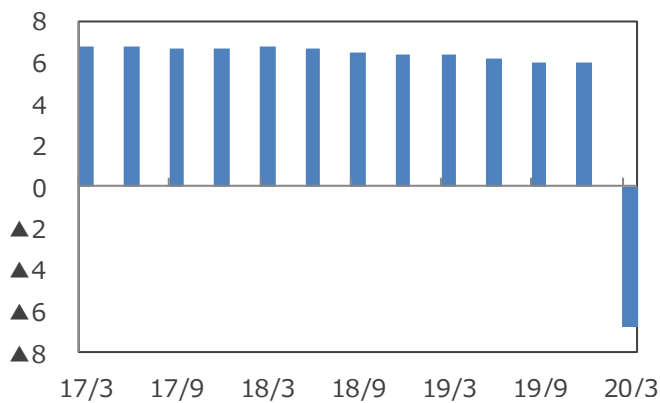
景気は4-6月期から回復、2020年は3%成長を予想

ポイント1 1-3月期GDPは▲6.8%

初めてのマイナス成長

- 中国国家统计局は17日、主要経済指標を発表しました。20年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比▲6.8%と、市場予想を下回り、19年10-12月期の+6.0%から12.8ポイント下がり、大幅なマイナスに落ち込みました。マイナス成長は、四半期で統計を遡れる1992年以降で初めてです。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、1月下旬から2月に経済活動が停止したことがマイナス成長の背景です。

(前年同期比、%) 【実質GDP成長率】



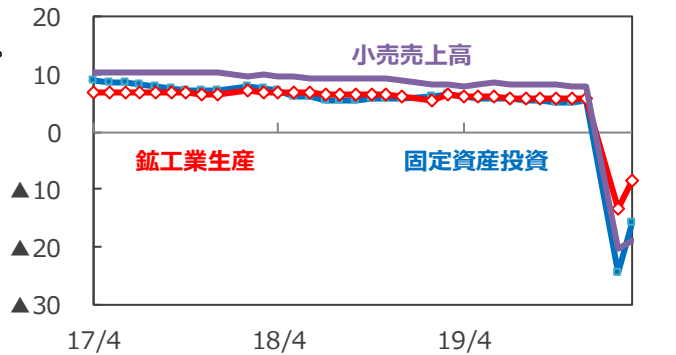
(注) データは2017年1-3月期～2020年1-3月期。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 生産は回復の動き

消費は新型コロナの影響で弱い

- 20年1～3月の鉱工業生産は前年同期比▲8.4%と、1～2月の同▲13.5%から減少幅が縮小しました。3月単月の前年同月比をみると、▲1.1%と小幅なマイナスにとどまっております、3月に入り生産活動が再開されたことで回復の動きがみられます。
- 1～3月の小売売上高は前年同期比▲19.0%と、1～2月の同▲20.5%から減少幅が小幅に縮小しました。3月単月の前年同月比は▲15.8%でした。新型コロナの影響で消費の戻りは弱いようです。
- 1～3月の固定資産投資は前年同期比▲16.1%と、1～2月の同▲24.5%から減少幅が縮小しました。

(%) 【固定資産投資、鉱工業生産、小売売上高】



(注) データは2017年4月～2020年3月。  
年初来累計の前年同期比。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 中国経済は4-6月期から回復し、2020年は3%成長へ

- 中国経済は1-3月期に深刻な打撃を受けたものの、中国はいち早く新型コロナの感染拡大の封じ込めに成功し、3月からは経済活動を徐々に正常化させつつあります。弊社は、中国政府が雇用確保の観点から大規模な景気対策を打ち出し、実質GDP成長率を2020年+3.6%、2021年+8.3%と予想しています。
- 1-3月期の実質GDP成長率は初のマイナス成長となりましたが、17日の上海総合指数は上昇し、影響は限定的でした。株式市場では今後中国政府がどのような経済対策を打ち出すかが焦点となりそうです。

ここも  
チェック!

2020年4月13日 運用者の視点：中国『新型コロナ対策から経済対策』へ  
2020年3月17日 中国の主要指標は大幅マイナス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。